



最近の住宅で十分な庭空間を得ることが出来る方は少ないと思います。そこで注目を浴びているのが、ハードウッドのハイデッキです。駐車スペース上にウッドデッキをつくります。そこに新しい生活空間が生まれます。

← 施工前

この現場は約20m²のウッドデッキを駐車スペース上に作りました。デッキ床下部にはポリカーボネイト波板を貼り、雨水対策もしています。アルミのカーポートと同程度の雨よけと霜よけになります。



☆初日は、柱とデッキ全体の骨組みを形成します。駐車スペースは、イペ材置き場と作業スペースで、車の駐車は出来ません。

施工期間中は自動車は置けなくなります。

イペ材のハイデッキは、塩害の多い地域でも耐久性は抜群です。

20年以上実用で使用可能です。

大切な車を守る意味でも、ハイデッキはイペ材を始めとするハードウッドにするべきです。



☆2日目はデッキ床材を貼ってゆきます。床材を貼るとデッキらしくなってきました。

☆3日目はフェンスの作成に入ります。

フェンスは床高さより1100mm以上に設定しています。また、フェンス柱を利用して、アルミ製物干し受けを取り付けます。

☆4日目にはほぼ完成しました。

このあと、床下にポリカーボネイト波板を貼り、雨水が直接車に当たらないようにします。

☆☆完成です。☆☆



横浜市・Y邸ハイデッキ

施工前。



完成時。



駐車スペースを活用したハイデッキで約20M²の空間が生まれました。洗濯物干し場にもなります。また屋外のガーデンパーティも可能です。車高が2000MM近くある車でも駐車可能です。(アルファードでもエルグランドでも大丈夫です。)ポリカーボネイト波板をデッキ床下に貼っています。お庭全体が大変広くなったと、大変喜んでくれました。



鎌倉市・I邸



住宅に隣接する傾斜地を利用してハイデッキを作成しました。パーゴラ上部には、ポリカーボネイト波板を貼り物干しも取り付けています。地面から床面まで約7Mのハイデッキです。お子様が、友達を集めて、デッキ上で、かくれんぼしていました。

H邸は湘南海岸から歩いて数分の立地条件。海はすぐ近くです。そこで玄関にパーゴラを設置しました。ここに温水シャワーを取り付けます。夏は、パーゴラによしずを取り付けて、目隠しをします。即席のシャワールームになるようにしています。また朝顔の蔭も張れるように、低層位置に横桟を付けておきました。来年、お子様は小学一年生です。H様は、昨年5月にランドマークデッキを取り付けられたお客様です。

藤沢市辻堂H邸



ランドマークのハイデッキで、「家族の笑顔満載の空間」を手に入れてみませんか。

Copy right 2005 All Right Reserved by Landmark co., ltd.